

謹賀新年



日本の復興とともに、
未来につながる倶知安町へ



町長
福島 世二

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さんとともに、新春を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

昨年は東日本大震災、福島原発の事故、円高、TPP問題等、全国がパニックになるほどの極めて混沌とした年でした。

また、倶知安町においても、震災等の影響を免れず、町の主要産業である観光などが大きな打撃を受けた年でした。そ

れでも、冬になりますと多くの外国人が訪れ始め、徐々に回復の兆しが見えてくるように思われます。一日も早い日本の復興をお祈りしております。

明るいニュースとしては、昨年の年末に倶知安町の悲願でありました、北海道新幹線札幌延伸の話が大きく進展いたしました。また、北海道横断自動車道(余市・黒松内間)は、着工に向けて着実に進んでおります。

これらの高速交通網は、町民の交通の利便性の向上のみならず、世界規模での交流が促進されることと思っております。新幹線と高速道路が起爆剤となり、倶知安町が国際都市として、より一層羽ばたけるものと考えております。

昨年は、皆様のご支援のもと、2期目をスタートすることができました。この場をお借りして心からお礼申し上げます。

私の2期目への基本姿勢として、「安全・安心なまちづくり」「笑顔で元気なまちづくり」「未来につながるまちづくり」の3つの柱を挙げました。

皆さんからの期待に応えるためにも、これらの3本柱を堅持しつつ、次代の子ども達のためにも、町政に全力で取り組んで参る所存でありますので、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

今年こそ、明るい年になるよう期待するとともに、町民の皆さんのご健勝とご多幸を心よりお祈りし、年頭のご挨拶とします。

活力あるまちづくりを町民とともに



町議会議長
鈴木 保昭

皆さん、明けましておめでとうございます。希望に満ちた平成24年の新春を迎えることと心からお喜び申し上げます。

昨年は統一地方選挙があり、町議会も4名の新人議員を迎えての新たなスタートとなりました。地方分権の大きなうねりの中で、議会の果たす役割も増大し、重要性が高まっている中、町民皆さんの声が町政に届くよう、積極的に議会改革

を進めているところです。

昨年10月には、仙台市で開催された3月11日の大震災と復興をテーマとした学会への参加の機会を得、被災地の状況を肌で感じながら、多くを学び、安心・安全に対する意識を強くして参りました。

また、町民の皆さんが安心して暮らせる環境を守るため「地域医療の確保に関する特別委員会」を設置いたしました。

財政状況の厳しい中、多くの課題を抱えておりますが、未来への明るい話題として、早期着工を求めて運動を続けてきた北海道新幹線の札幌延伸が、いよいよ現実となる可能性や、震災後に落ち込ん

だ観光客が戻り、スキー場を中心に賑わいを取り戻しつつあります。

今後も皆さまのご意見を伺いながら、決意を新たに倶知安町の新しい魅力と活力に満ちたまちづくりの展開ができるよう議員一丸となつて、未来へ向けて努力して参りますので、変わらぬご協力をよろしく願います。

結びに、本年が皆さんにとって幸多き年となりますよう心からご祈念し、新年のごあいさつといたします。